

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	教育部総務課	■担当係	総務係
■評価事業名称	全国大会等出場補助金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	400100 - 054	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	
	■施策	01 知・徳・体を育む	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	目的:生徒のスポーツ及び芸術文化の向上に対する意識の高揚を図り、保護者の経済的負担の軽減に資するため。 事業概要:市内の高校が全国規模の大会に参加した場合の出場経費に対し、北上市教育委員会補助金交付基準により一定額を補助するもの。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	全国高等学校総合文化祭出場補助金	高校生	第39回全国高等学校総合文化祭出場補助金 ・北上翔南高等学校 ・補助金 800千円	第39回全国高等学校総合文化祭出場補助金 北上翔南高等学校(郷土芸能部門) 800,000千円 ・黒沢尻工業高等学校(新聞部門) 39,000千円 ・黒沢尻北高等学校(吹奏楽部門) 599,000千円
02	全国高等学校俳句選手権大会出場補助金	高校生	未定	なし
03	全国高等学校軟式野球選手権大会出場補助金	高校生	未定	なし
04	全日本マーチングコンテスト出場補助金	高校生	未定	第28回全日本マーチングコンテスト全国大会・専修大学北上高等学校(生徒71人、引率3人) ・補助金 800,000円
05	全国高等学校ラグビーフットボール大会出場補助金	高校生	未定	第95回全国高等学校ラグビーフットボール大会 ・黒沢尻工業高等学校(選手25名) ・補助金 1,994,000円

## 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

06	全国高等学校弓道大会 出場補助金	高校生	未定	第34回全国高等学校弓道選抜大会 ・黒沢尻工業高校(選手1名) ・補助金 15,000円
07	全国高等学校選抜クライミング選手権大会出場補助金	高校生	未定	第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 ・黒沢尻工業高校(選手1名) ・補助金 11,000円
08	全国高等学校選抜ボート大会出場補助金	高校生	未定	第27回全国高等学校選抜ボート大会 ・黒沢尻工業高校(選手5名) ・補助金 50,000円
09	全国高等学校ボクシング選抜大会出場補助金	高校生	未定	なし
10	全日本高等学校選抜ソフトテニス大会出場補助金	高校生	未定	なし
11	全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会出場補助金	高校生	未定	第2回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会 ・黒沢尻北高校(選手12人、引率2人) ・補助金額 166,000円
12	全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会出場補助金	高校生		第16回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会 ・黒沢尻北高校(選手24人、引率2人) ・補助金額 181,000円

### 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	4,820	3,840	3,827	4,655	
人件費	3,304	1,985	2,008	2,085	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,124	5,825	5,835	6,740	

### 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	補助金交付基準に基づく補助	4,820,000円	3,840,000円	3,827,000円	4,655,000円	補助金交付額
02	補助金交付件数	7件	6件	9件	10件	
03	全国大会出場参加人数(登録選手)	201人	108人	219人	251人	
04	事業費に対する補助金の割合	10.3%	12.2%	14.7%	13.3%	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

全国大会に出場する学校等に対し、交通費等を補助することにより、保護者の負担軽減が図られるとともに、学校及び生徒の意欲的な取組に資することができ、スポーツ及び芸術文化の振興と人材育成に貢献している。

問題点・課題等

全国大会の出場が決まってから予算措置するため、出場までに補助金の交付決定が間に合わないなどの事務手続上の課題がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了